

報町利由東

1/1

No.322 昭和57年1月1日発行 毎月1日発行

昭和57年

No.322

賀正

祝大平スキー場リフト照明完成

大平スキー場オープン

冬季観光の柱に

降雪を前に工事を進めていました大平スキー場の「夜間照明灯」と「簡易リフト」が完成、十二月二十日、関係者約百人が参加してスキー場開きが行われました。

同スキー場は、大平から本荘方面に向かって左へ約一キロほど入った所にあり、標高約百五十メートルで全長二百五十メートル、平均斜度十八度のゲレンデがあります。最近、家族連れで楽しめるスキー場として、町内はもとより、本荘など近隣市町からの利用も増えています。

スキー場開きでは、まず神事を行い、シーズン中の無事故を祈願したあと、町長、議長、石綿町スキークラブ会長が紅白のテープにハサミを入れ、本荘・由利地方では初めての夜間スキー場がオープン。この日の積雪は十五センチほどでしたが、待ちかねた子供たちや町外から車で訪れたスキーヤーが早速、初滑りを楽しんでいました。

照明灯・簡易リフトが整備された同スキー場には、朝から夜まで楽しめるファミリースキー場として、町内外からさらに多くのスキー家族が訪れるものと期待され、町では、冬季観光の柱として、今後も、駐車場やヒュッテなどの整備を進めることにしています。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

新年のごあいさつ

町長 小松 栄男



参ります。国内はご承知のように、行政改革の一年目であり、前年度のように、公共事業、補助事業が伸びない年になったことの認識を持たなければならぬと思います。

新年のごあいさつを申し上げます。

一九八二年は、世界的に不安要素が高まる年であり、我が国にも色々と影響が出て



新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

財政再建は地方行政財政制度の確立と相まって、今後地方自治体発展の大きな鍵となるものと思います。

価値観の多様化と共に、年々高まる行政需要に対応してゆくためには、行政手続の簡素化をはかり、真の意味の地方の時代の認識に立つて議会の機能をより強化してゆかなければならぬものと存じます。

稲作農業は減反政策の中で

本町の予算額は二十億円で、歳入は、町税が全部で一億五千万円に達していません。この財政構造で町の運営が出来るのは、国の各種の措置によって財政が支えられて

きわめて厳しい現状にあることは申し上げるまでもなく、米、畜産、葉たばこ、果樹など、需給の動向、収益性と自家労力のバランスを考え合わせ

議会議長

小野 昭一

風雪の中にこそ英知

せ、創意と工夫を重ね、経済性を高める智慧が必要です。

このような時期を耐える英知と精神力が農業魂とでもいいたいでしょうか。もちろん農業のみならず、町全体の産業構造の見直しが必要です。

二次産業の振興、特に男子型工業の導入等により、若年労働力の流出を防止し、同時に後継者の定着をはかってゆ

いるためであります。行革によって国の支出が渋って来ると、町政にも影響が出て来るのが当然であります。それを最小限度にして町行政のレベルを落とさぬように努めるのが責任と考え、努力をしております。

町内の経済に、農林水産業費、土木費、災害復旧費がその影響を持つもので、五十六年度では九億一千九百万円となっております。またこのほか国・県が東由利町内で行っている公共事業は、農水省、

かなければならぬものと思います。

豊かさを確保すると共に安心して楽しく住める町、即ち人間生活の原点に立つて交通、通信、電力、水道等整備改善を急がなければなりません。

小学校の統合についても、町造りの基本に立つて、集落の配置構成を配慮し、進めるべきです。教育はそこに学ぶ児童のためになされなければなりません。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昭和五十七年 元旦



明けましておめでとうござ

います。年頭にあたってはいつも、今年こそは明るい豊かな年であるよう願ってやみませんが、果たして願望するよう

な年になるのかどうか、政治的、社会的、経済的にもいろいろな難問が山積しているように、危惧の念を捨て去ることができないのが残念でなり

ていきます。

出羽丘陵開発事業は、二十六団地・二百六十四軒、参加農家百七十三戸で一応まとまりました。経営体、経営内容の検討、土地造成の設計が本年度の作業になります。経営内容の研究は大切なことであり、農家個々に入って検討が必要であります。

学校統合の町の方針の三校案は、町民多くの理解と支持を得ているものと考えています。本年四月一日をもって八塩小学校が誕生することになりました。

教育の最大の条件は教師論

二年続きの冷害による不況を、どう克服するかが、本年度の大課題になるものと思われ、町民の皆さんの真剣なご努力により、この難問を切り開き、豊かな町づくりが進展するよう、心から祈念いたします。

学校教育においては、新指導課程の精神の具現化のため

新年を迎えて

教育委員長 佐藤 松之助

に、各学校ともそれぞれ創意工夫を凝らし、実態に即応した学校経営をされ、着実にその方向をたどっておられることに、心から敬意と感謝を申

であることは、大方の一致するところであり、多数の教師が本町に通勤勤務をしております。時間と体力の制限の中で本町の教育に尽くされているのであって、この条件を無視してはならないと考えます。また、過疎化防止のために教育施設の配置を考慮することは、教育の発展と適合するならば、これも条件に考えるべきだと思います。何より、児童生徒の幸せを考え、判断すべきであります。

皆様の新年の御健勝をお祈り申し上げまして年頭のごあいさつと致します。

しあげる次第です。ひとり教科指導の面ばかりでなく、運動の面にも、また発明工夫の面などにも、きわめて優秀な成績をあげられ、へき地の小規模学校でも、熱心に努力すれば、いろいろなことが立派にできるといふ可能性を如実に具現したものであり、児童生徒に誇りと自信をもたせることができた、大収穫であります。たものと喜んでおります。

小学校統合同問題は、委員会が示した三校案が、いまだ全面的に協力できないか、甚だ残念です。児童の生命の安全を図るため、一日も早く解決するため努力したいものです。

転作等目標面積は194ヘクタール

冷害 転作率〇・九% 軽減

十二月二十一日、昭和五十七年度の水田利用再編対策転作等目標面積と政府買入れ限度数量が県から示され、本町には、転作等目標面積百九十四ヘクタール、限度数量四千四百七十五トが配分されました。これは、第二期水田利用再編対策（五十六・五十八年度）の目標配分数量に比べ、面積は十分の減、限度数量は六十二トの増となっています。町では同日午後、水田利用再編対策協議会を開き、配分方法や推進方法などについて検討してもらい、その結果をもって同月二十四日、自治会代表者会議を開いて各集落別・農家別に転作等目標面積を示し、協力をお願いしました。

今回の配分は、五十六年冷害が考慮され、全国で本県一

県だけが新たに六百四十ヘクタールの転作面積軽減措置を受け、改めて市町村配分が行われたことに伴うものです。

自治会代表者会議には、自治会長、協同班長、共済部長に参集願い、△配分の方法△推進策——などについて説明するとともに、各集落別・農家別に△水田面積△第二期配分面積△五十六年度未達成面積△冷害軽減面積△五十七年

度配分面積——を示し、理解と協力をお願いしました。

配分に当っては、

- ①、第二期目標面積の転作率一七・四%は固定した
- ②、五十六年度目標未達成農家には公平確保措置を行った。
- ③、冷害による軽減面積については、水田面積割に一律配分した。

・配分率 〇・九%
としています。

集団化・団地化の指導・援護を強化

五十六年度の転作等実施面

出羽丘陵開発

173戸が参加希望

草地希望264ヘクタール

町では、昨年春から出羽丘陵開発事業への参加希望などを取りまとめましたが、このほど概要がまとまりました。それにより、参加希望農家は百七十三戸、草地希望面積は二百六十四ヘクタールとなっています。

本町は、出羽丘陵開発精査地区の中では由利郡一円を抱括する西部地区に属し、事業実施は昭和六十一年度以降に予定されています。しかし、米の生産調整が強化される中で、農家の畜産にかける熱意

と期待はいつそう高まり、草地の拡大が重要な課題となっていたことから、一年でも早く粗飼料の安定確保を——と、五十八年度事業着手をめどに五十四年度から事務を進めてきました大森・雄物川二町に

よる東部地区に、昭和五十六年四月から編入したものです。以来、国や県の指導助言を得て「経営指標」を作成し、それをもって集落別説明座談会を開くとともに、△農家意向調査△参加農家取りまとめ△開発予定団地の所有者及び

権利関係調査——など、五十七年度全体事業計画策定に向けての基礎調査事務を進めてきました。また、これと並行して国では、町と連絡を取りながら、開発予定団地の土壌調査や地形調査などを実施しました。

その結果、草地造成予定見込み面積は、二十六団地・三百十八ヘクタールとなり、参加農家の希望面積は百七十三戸に達する見込みとなったものです。町では今後、農家個々の経営台帳を整備するとともに、土地賃借料の調整、土地利用計画及び営農計画、工事計画などの「開発基本計画」を策定し、五十七年七月に、事業実施主体となる農用地開発公団に引き渡す予定です。そし

積は、農家の理解と協力により、目標面積を一・一ヘクタール上回る二百二・一ヘクタールとなり、奨励金一億四千六百五十三万九千九百九十九円を受けました。

しかし、反省点として△大豆は面積増の割に出荷量が伸びなかった△スイカは、販売価格は良かったが、反収と商品化率が悪かった△作物によっては捨て作りが見られた△圃場の条件整備が進んでいない△団地化転作に対する集落内での話し合いが少ない△青刈稲は、米養価を高めるため刈取時期の検討が必要——といったことがあげられています。

こうしたことから町では、五十七年度水田利用再編対策の推進に当り、五十六年度と同様に「大豆」「スイカ」「カボチャ」「サトイモ」「飼料作物」を重点作物とし、関係機関と協議を重ねながら、技術、流通、価格、資金といった内容の充実を図ることとしています。

また、今後の転作は、集団化・団地化をすすめる必要があります。

町転作褒賞で

四氏に表彰状

十二月二十四日の自治会代表者会議の席上、昭和五十六年度町優秀転作集団等褒賞事業の表彰が行われ、個人の部で、転作の推進と定着に優秀

情勢の変化に対応できないとの観点から、転作田の団地化と受委託、互助に対する指導、援護を強めることにしました。

三者一体となり農家経営の安定を

米の過剰基調を背景に、向こう十年間実施するとして昭和五十三年から進められてきた水田利用再編対策であることを考えれば、二期対策のあとは三期対策があることを忘れてはなりません。

転作の軽減措置がとられたとはいえ、二年続きの冷害で農家の経済的な痛みは相当大きなものがあり、異常気象下での稲作技術の確立とともに、△転作物の定着△生活の見直し△複合経営確立——などへの厳しい対応が迫られることに変わりはないといえます。こうしたときこそ、農家、農業団体、行政が互いに理解し、協力し合い、三者一体となって積極的に転作に取り組む、農家経営の安定に努めるべきではないでしょうか。

な成績をあげられた次の四氏に、表彰状と記念品が贈られました。（集団の部は該当なし）

- ・ 嶽石忠司（大豆、八日町）
- ・ 小野忠（大豆、下小屋）
- ・ 梅津嘉人（スイカ、大琴）
- ・ 佐々木隆二（カボチャ、大琴）

（敬称略）

すすむ農業生産条件整備



課題は複合経営の確立

「自立経営農家の育成」を目ざし、昭和五十二年度からすすめてきた第二次農業構造改善事業（二次農構）と、「活力ある農村地域社会の形成」を目ざし昭和五十四年度からすすめてきた「新農業構造改善事業」は、五十六年度で事業が完了。全県でもトップクラスの圃場整備率のうえに稲作機械化一貫作業体系が確立され、生産基盤、近代化施設集落環境施設の整備が図られました。しかし、他方では、労働力の農業内燃焼、米依存型経営の体質改善、複合経営の確立などはじゅうぶんに進展していないのが実情で、地域農業確立のための大きな課題となっています。今号では、これまで実施した農業振興事業を顧みながら、一度、本町農業の現況と方向にスポットをあててみました。

圃場・機械・環境を整備し拡大作目導入

昭和四十年から三カ年にわたって実施された第一次農業構造改善事業（一次農構）では、六十九畝の圃場整備が行われたほか、拡大作目に乳牛と養蚕が導入され、振興が図られました。

その後、大型機械の普及により、作業能率や労働生産性向上の面から生産基盤整備の必要性が広く認識されるようになり、圃場整備は、山村振興事業や団体営事業などの各種制度で積極的に進められました。

特に、昭和四十五年以降は、休耕による通年施行と相まって急速に進み、昭和稲作は大型機械化一貫作業体系が確立されたが……

（表1）本町で実施している主な農業関係事業

	事業名	実施年度	対象地区等
1	第1次農業構造改善事業	昭40～昭42	全町
2	第1期山村振興特別対策事業	46～ 49	〃
3	県単独小規模土地改良事業	44～ 54	〃
4	団体営(町営)圃場整備事業	48～	〃
5	県営圃場整備事業	49～	老方、館合、田代、黒淵
6	第二期山村振興特別対策事業	51～ 54	全町
7	集落農場化事業	47～ 52	全町
8	第二次農業構造改善事業	52～ 56	老方、館合、田代、黒淵
9	農村基盤総合整備事業(ミニ総バ)	52～	宿
10	地域農政特別対策事業	53～ 54	法内、蔵の一部
11	土地改良総合整備事業	54～	法内、宮の前、上里
12	新農業構造改善事業	54～ 56	宿
13	農村総合整備モデル事業	55～	全町
14	肉用牛生産団地育成事業	49～ 50	〃
15	団体営草地開発事業	49～	〃
16	緊急粗飼料増産対策事業	51～ 52	〃
17	過疎農道整備事業	48～ 55	石高線
18	農免農道整備事業	52～	根小屋線、軽井沢線
19	団体営農道整備事業	53～56	須郷線、葎沢線
20	山村基幹農道整備事業	55～	新沢線
21	開拓地道路整備事業	54～	八塩線
22	広域付帯農道整備事業	55～	高村線

四十九年には全町水田面積の約三分の一にあたる四百一畝を対象として、県営圃場整備事業に着手されました。しかし、整備が進むにつれ、個々での大型機械導入が懸念されたのです。

平均耕作面積が一・二畝程度といった中で個々の導入にはおのずと限界があり、機械の持つ性能をフルに活用できないのは、だれの目にもあきらかです。

こうしたことから昭和五十二年、一次農構、圃場整備の進捗状況をふまえ、地域別に営農集団を組織し、機械の高度利用を図るとともに稲作の大型機械化作業一貫体系を確立して省力化を図り、余剰労働力を拡大作目に集中し、農

家所得の向上を図ろうと、二次農構に取り組んだものです。事業は、蔵・老方・館合・田代・黒淵地区を、北部・中部・南部の三ブロックに分け、それぞれ、米プラス肉用牛・葉たばこといった経営類型のもとに特色ある地域農業の確立を目ざし、土地基盤・近代化施設・集落環境の整備を実施したものです。

一方、山振事業や農村基盤総合整備事業（ミニ総バ事業）などにより生産基盤と近代化施設の整備をすすめてきた宿地区では、昭和五十四年度から新農構に取り組み、高度で安定的な生産力を持つ地域として整備し、併せて環境条件の整備を図ることによって活力ある農村地域社会づくりを

目ざしました。

また、法内地区では、団体営圃場整備事業や山振事業、地域農政特別対策事業、土地改良総合整備事業などを取り入れ、農業生産条件の整備を図りました。

好機に効率的に実施した条件整備

こうした結果、整備可能水田のほとんどが整備済となったうえに稲作の大型機械化一貫作業体系が確立され、集落環境施設の整備が図られたものです。

この間、我が国経済は、高度成長から低安定成長へと移行し、国民的課題として「行政改革」が叫ばれるように、

〈表2〉 二次農構・新農構事業実施概要

		事業 年度	主要 作物	営 農 集 団	事業実施概要 (補助対象のみ)
二 次 農 構	北部 地区	昭	米・ 肉 用 牛	・蔵営農組合 (蔵・蔵新田)	・圃場整備 (小田地区) 10.4ha
		52		・宮上営農組合 (宮の前・上里)	・トラクター (30～62P S) 10台
		54		・老方営農組合 (新町・上通・中通・下通・横小路)	・自脱型コンバイン (3条刈) 9台
	中部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・養田館営農組合 (寺田・湯出野・茂沢)	・農機具格納庫 2棟
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・ライスセンター (処理能力 270ha) 1棟
		55		・松柴営農組合	・蔵地区集落センター (大蔵館) 1棟
	南部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・農事組合法人・松柴たばこ生産組合	・祝沢地区研修集会施設 1棟
		53		・館合営農組合 (宇戸坂・館西・下小路・家の下・八日町)	・農地造成 (タバコ畑・田の沢) 10ha
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・圃場整備 (板戸) 11.3ha
新 農 構	北部 地区	昭	米・ 肉 用 牛	・蔵営農組合 (蔵・蔵新田)	・トラクター (30～62P S) 10台
		52		・宮上営農組合 (宮の前・上里)	・自脱型コンバイン (3条刈) 9台
		54		・老方営農組合 (新町・上通・中通・下通・横小路)	・農機具格納庫 2棟
	中部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・養田館営農組合 (寺田・湯出野・茂沢)	・ライスセンター (処理能力 270ha) 1棟
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・蔵地区集落センター (大蔵館) 1棟
		55		・松柴営農組合	・祝沢地区研修集会施設 1棟
	南部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・農事組合法人・松柴たばこ生産組合	・祝沢地区研修集会施設 1棟
		53		・館合営農組合 (宇戸坂・館西・下小路・家の下・八日町)	・農地造成 (タバコ畑・田の沢) 10ha
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・圃場整備 (板戸) 11.3ha
新 農 構	北部 地区	昭	米・ 肉 用 牛	・蔵営農組合 (蔵・蔵新田)	・トラクター (30～62P S) 10台
		52		・宮上営農組合 (宮の前・上里)	・自脱型コンバイン (3条刈) 9台
		54		・老方営農組合 (新町・上通・中通・下通・横小路)	・農機具格納庫 2棟
	中部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・養田館営農組合 (寺田・湯出野・茂沢)	・ライスセンター (処理能力 270ha) 1棟
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・蔵地区集落センター (大蔵館) 1棟
		55		・松柴営農組合	・祝沢地区研修集会施設 1棟
	南部 地区	52	米・ 葉 た ば こ ・ 肉 用 牛	・農事組合法人・松柴たばこ生産組合	・祝沢地区研修集会施設 1棟
		53		・館合営農組合 (宇戸坂・館西・下小路・家の下・八日町)	・農地造成 (タバコ畑・田の沢) 10ha
		55		・山崎営農組合 (五海保・久保・山崎)	・圃場整備 (板戸) 11.3ha

なりました。農業施策、特に補助事業の見直しが議論され、今後の補助事業実施には、相応な条件の制約が加えられると予想されています。

こうしたことから考えると、面工事を終え、機械化一貫作業体系を確立した本町農業の基盤・近代化施設に関する整備事業は、最も良い時機に効率的に実施したと言えます。

米価据え置き、行
革など厳しい環境

しかし、他方考えてみると、

労働力の農業内燃焼を基本に、

の体質改善と複合経営の確立

発可能地を草地開発し、経営

基本は労働力の農内燃焼

労働力の農業内燃焼、米依存型経営からの脱却、農地の流動化などは、じゆうぶんに進展していないのが実情です。

農家所得は、農外収入の割合が高まり、二種・三種の兼業化がいつそう進む傾向にあります。しかも、水田利用再編対策の強化、米価の実質据え置き、地力の減退、農業就

業者の高齢化など、農業を取り巻く環境は、内・外ともに一段と厳しいものになっています。

一方では、行政改革の推進によって公共事業の規模が縮小され、農外雇用の場にも制限が出てくるものと推察されます。

が最大の課題となります。

既存農地の効率利用と未利用地開発

課題解決のためにはひとつに、既存農地の高度利用を考え、転作を含めた畑作物の振興と、未利用開発可能地の効率利用などを考えなければな

既存農地の効率利
用と未利用地開発

規模の拡大と近代化を進めながら畜産物の安定供給と生産性の向上を図ろうとする「出羽丘陵開発事業」が計画されています。

れたことばですが、実際にはじゅうぶんに進展していないのが実情です。しかし、米作が限界に達している今日、豊かな農業、農村づくりのため

氣象・地勢・技術・経験などから、米に替わる農業は畜産以外に無いという一致した見通しがたてられ、この振興を図るうえで草地拡大が大きな課題とされていた町では、昨年春、議会、農業団体、畜産関係者、地域代表の皆さんと協議し、この農用地開発事業に参加することにしました。現在、大内町、雄物川町、

には、どうしても解決しなければならぬ課題です。

このため町では、市場性や需給動向を考慮しながら、気候・土壌条件などに合った作目の選定と栽培技術の普及、流通、価格、資金などの振興策について関係団体と協議、検討を重ねているところであります。

稲作文化の中で形成されてきた本町農業、農村構造を変

大森町とともに東部地区を形成し、参加農家の取りまとめや開発可能地の選定など、昭和五十八年度事業開始をめざし基本計画の作成事務を進めています。

えるには、それなりの時間が
必要でしょう。新しい東由利
農業の創造のためには、農家
農業団体、行政が、それぞれ
の果たすべき役割、分担を考
えながら、三者一体となつて

役割・分担を考
え三者一体に

「複合自立経営の確立」――

り、いまが勝負のときといえます。

七〇を越えない
うちに雪降ろしを

▼新積雪の場合、一平方メートルに一メートルの積雪
 でおよそ八〇キログラム▼
 積雪に水分を含んだ場合、
 一平方メートルに一メートル

す▼屋根に加わる重さは、雪のほかは風力が加わり、少なくとも七〇センチメートルを超えないうちに雪降ろしの必要があります。

住吉小と玉米小を統合

校名は八塩小学校に

水道事業調査 特別委を設置 工業導入調査

十二月定例議会

町議会第六回定例会は十二月十八日に招集され、住吉・玉米両小学校を統合し八塩小学校とする町立学校条例の一部改正のほか、大平スキー場設置条例、議員提案による工業導入調査・水道事業調査の両特別委員会設置についてなど、十二議案を審議。学校条例の一部改正については、議員提案により、統合校の位置を住吉小現校地にするという修正案が出されましたが否決され、同月二十三日、いずれも原案どおり可決・承認して閉会しました。町長の行政報告、一般質問、可決案件等の概要は次のとおりです。

行政報告

種子対策に百五十万円

葉たばこ・一千万円減収

冷害により、売り渡し米は限度数量に対して一万一千四百十二俵が供出不足となつていいます。水稲作況は、平年比八二%、被害額は二億七千五百万円と推定しています。この対策として、天災融資法の該当、自作農維持資金の利用がありま

このほかに、県単の利子補給の融資が、全県で三十億円予定されています。差し当たり、町としては、二百六十分の種子確保のため、百五十万円の町費補助を計上しました。また、少数の対象に限定されますが、雪の中でも作業ができる林業の保育事業を計画しています。

昨年、本年と続いた冷害は、農業政策の不安定の中にあつて、農家に対し、経済的にはもちろん、精神的にも大きな影響がありますので、町とし

ては、農協、農業委員会をはじめ、各機関団体とともに、消費生活に於ては、社会教育機関とも相図つて、今後の対策に努力して参る考えです。

葉たばこの収納実績は八九・四トン、一億三千三百万円で、昨年比一千万円の減収入です。また、遺憾なことを報告しなければなりません。それは、耕作面積の減反の指示があつたことです。数字はまだ流動的ですが、減反二・二四割、廃作二・一四割です。

出羽丘陵開発事業は、東部地区全体で六百四十割。うち本町は二百六十四割、二十六団地、参加農家は百七十三戸にまとまりました。今後、多少の流動があるかと思ひますが、農家の意欲の向上と経営体、経営内容の指導、国からの予算獲得に全力を尽くす考えです。

町営の農業関係公共事業の執行状況は、次のとおりです。

- ・第二次農業構造改善事業及び新農業構造改善事業一〇〇%
- ・土地改良総合整備事業一〇〇%
- ・ミニ総パ事業一〇〇%
- ・団体営草地開発事業一〇〇%

業一〇〇% ・釜坂地区圃場整備事業九〇%

肉用牛の導入は、高齢者等導入事業は計画どおり二十頭導入。一般導入牛は、三十五頭のところ、二十五頭を導入、残り十頭は二月及び三月の市場で導入の予定です。

農業災害復旧は、五十五年度災二カ所、五十六年度災三カ所で、九百十六万四千円の事業費、進捗率は八〇%程度です。

町道の新設改良舗装は十五路線実施しており、うち十三路線は完了しています。未完了は、地下の沢線の改良が八〇%、大琴線の舗装が三〇%の進捗率です。

農道整備事業は、二路線六カ所完了。

林道新設事業は、二路線三カ所完了。

橋梁関係は三工事完了。

前述した町営農業関係の公共事業の中に、農道、集落道、計十二路線二十一工事ありますが、大部分完了していることを付け加えて置きます。

県営農道整備事業は六路線ありますが、根小屋線一期・二期工事は完了。八沢木・玉米・八塩の各線は完了。軽井沢線は九〇%の進捗率です。軽井沢線は、予想以上に工事費が増加致し、一〇七号線にタッチするためには尚二億近い工事費の追加が必要となり、先般、陳情の結果、一億八千万円の追加計画が採択になつて

ています。

建設課所管の町道、林道、河川災害復旧は、現在、発注カ所十四、工事費二千七百万円です。進捗率は、林道ぼつめき線が一〇〇%、町道台山線が一〇〇%、町道大下線が九〇%、河川災害復旧十一カ所が二〇%です。

災害復旧について補足説明して置きたいと思ひます。現在、未発注カ所及び工事費は、五十五年災が七カ所で千七百八十五万九千円、五十六年災が十六カ所で四千四百七十九万九千円、計二十三カ所、六千二百六十五万八千円となっています。うち、三千万円程度を消雪早々に発注したいと考えています。

大吹川地区の災害復旧及び緊急地すべり防止工事の総工事費は一億二千六十三万二千円ですが、本年度分六千七百七十四万四千円は完了し、交通の許可をしています。財源内容は高率補助の適用が可能と思われ、明年二月には決定されると思ひますので、その時点で町負担の措置を致したいと考えています。

なお、あの地帯一帯が地すべりの地帯と考えられますので、昭和五十七年度に、五十、六十割を対象に防災工事が必要と思ひます。総工事費は二億五千万円程度になると思ひますが、実現できるように働きかけをしているところで

懸案でありました大台地区の農道開設については、当初、農免道路を考えていましたが、根小屋線の関係から採択の可能性がないと判断しました。町営事業にしますと、補助裏の財源が行革によつて公共事業債が打ち切られるような状況にあり、財源措置に問題が出ます。しかし、今後の状況から考えますと、補助率自体が制限される状態もあると思ひ、五十七年度に実施を予定し、測量設計の作業を進めると同時に、国に対して事業採択を働きかけていますので、ご理解をお願いいたします。事業費は、現在単価で約一億九千万円程度と考えています。

水道の増設事業ですが、基本的な計画についてはご案内の通りで、現在、測量を実施中です。議会に於ても特別委員会が設置されるようであり、本工事費は九億円を超え、現在の利用者には負担が増高する事業ですので、計画及び実施についてはじゅうぶんなご検討をお願いいたします。

町税は、町民各位のご協力により、収納状況はまず順調と考えます。現在の収納率は六三・三四%、前年同期に比べ一・一%の低下です。

週休二日制の試行については、御承知のように国家公務員に於ては、本年度より法律によつて実施されています。地方自治体に於ては、ほとんどが条例改正を行わず、試行的

に実施をしているようです。本町でも、明年一月から三月末まで試行期間として実施したい考えです。週休二日という表現ですが、四週間に半日休みが多くなるということです。

可決案件

【町立学校条例の一部を改正】

住吉小学校と玉米小学校を統合し、昭和五十七年四月一日から八塩小学校とすることにした。校地は玉米小の現校地。ただし、暫定措置として昭和五十七年度に新校舎ができるまでの間、臨時に住吉小学校舎を使用することにした。

【東由利町大平スキー場設置条例について】

位置や簡易リフト使用料、損害賠償義務、管理などについて定めたもの。

簡易リフト使用料は次のとおり。ただし、五十七年一月一日から施行する。

◎小・中学生

- ・一回券一枚 三〇〇円
- ・十二回券一枚 三〇〇円
- ◎その他
- ・一回券一枚 五〇〇円
- ・十二回券一枚 五〇〇円

【専決処分の承認（昭和五十六年度町一般会計補正予算（第三号））】

起債許可予定額の増額内示があり、早急に予算補正を要するが、議会を招集する暇がないと認め、歳入歳出予算に

あり、社会の状況から町民の理解を願う次第です。

玉米小・住吉小の統合について

賛成、反対双方の主張がありますが、教育の現況、教育施設の実状から、これ以

それぞれ二千三百七十四万九千円を追加し、総額をそれぞれ二十億四千六百十三万一千円とする五十六年度一般会計補正予算（第三号）を専決処分したものの。

歳出補正は、▽大琴線舗装工事費八百二十五万三千円▽台山二号線舗装工事費四百九十万三千円▽地下の沢線改良工事費三百四十七万七千円▽消防機械置場工事費二百四十七万円——などが主なもの。

【昭和五十六年発生台風十五号暴風雨災害農業用施設災害復旧事業の施行】

昭和五十六年八月二十一日から二十三日に発生した台風十五号暴風雨の被害を受けた次の農業用施設の復旧工事を、五十六年度に施行するものとした。

- ・中大平地区（用水路十二区）
- ・袖山地区（用水路二十区）
- ・土場沢地区（頭首工一カ所）

【昭和五十六年度農地及び農業用施設災害復旧事業の経費の賦課基準等を定めることについて】

賦課基準・徴収の時期及び方法を次のとおり定めた。

一、賦課基準

関係受益者の受益地の地

上放置することは許されないものと判断し、今議会に両校の実質統合の条例案を提案しておりますので、よろしくご審議のうえ、ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

積割

- 二、徴収の方法
- 三、徴収の時期

【字の区域の変更について】

県営圃場整備事業施行に伴い、老方区域内の字の名称及

陳情・請願等

（付託事件に係るもの）

・小学校統合問題を考える会代表藤丸隆ほかよりの請願

・残校一校統合促進する会よりの陳情

以上二件は一事不再議。

（その他一事不再議のもの）

・昭和五十七年四月一日から住吉小・玉米小両小学校の実質統合実現方について（住吉地区学校統合推進協議会会長長谷山憲一ほか九十四人）

・現玉米小学校地以外の取得ずみの土地に早期統合実現方について（小学校統合問題を

び区域を変更したもの。

【一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正】

人事院の勧告に基づき、国家公務員の給与法が改正されたのに準じ、町一般職の職員の給与及び手当を改正した。

【昭和五十六年度町一般会計補正予算（第四号）】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二千三百七十六万六千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十億六千九百八十九万七千円とした。

歳出補正は、一般職の職員

の給与改定に伴うもののほか

▽水稲種子対策補助金百五十万円▽農地流動化奨励金百五十万四千円▽大台線調査設計委託料百三十四万六千円▽間伐促進対策推進事業補助金五百二十万八千円▽森林組合林産活動強化整備事業補助金七十二万六千円▽西山線調査設計委託料（橋梁）二百万円▽除雪作業員休憩所工事費百五十万円▽小学校三、四年社会科副読本作成費七十九万円▽小学校遠距離通学費補助金二十二万四千円▽大平スキー

（同・不採択としたもの）

・靖国神社公式参拝実現に反対する陳情（靖国問題秋田県宗教者連絡会議代表片野安久利）

・新秋田空港を自衛隊と共用しないよう意志表示方について（原水爆禁止本荘由利協議会会長狩野光弘）

（同・継続審査としたもの）

・農道橋架設について（高橋民治郎ほか十一人）……産経常任委員会に付託

・福祉医療の現行制度継続について（乳幼児医療費無料化をまもる会世話人代表井上ハナ）……教育民生常任委員会に付託

（一事不再議）……議会で議決された事件について同一会期中は再び提出することができない。（町議会会議規則第十五条）

場運営費二百四十一万四千円——などが主なもの。

【昭和五十六年度町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第一号）】

職員の給与改定に伴い、歳入歳出予算の総額にそれぞれ三十九万八千円を追加し、歳入歳出それぞれ四億四千二百十四万三千円とした。

【昭和五十六年度町簡易水道事業特別会計補正予算（第四号）】

職員の給与改定に伴い、歳入歳出予算の総額にそれぞれ十九万二千円を追加し、歳入歳出それぞれ二千八百十三万円とした。

【工業導入調査特別委員会の設置について】

議員提案により、工業導入に関する諸問題を審査するため、特別委員会を設置することにし、委員に次の八氏を選任した。（◎印は委員長、○印は副委員長、敬称略）

- ◎川尻幾郎 ○長谷山二郎
- ・遠藤正男
- ・伊東庄一郎
- ・長沼久男
- ・佐藤文一郎
- ・渡辺清一
- ・五十嵐宗憲

【水道事業調査特別委員会の設置について】

議員提案により、水道事業に関する諸問題を審査するため、特別委員会を設置することにし、次の九氏を選任した。

（◎印は委員長、○印は副委員長、敬称略）

◎小松豊 ○遠藤治郎助・小

（次のページに続く）

松与惣雄・長谷山喜市郎
・阿部剛・小野要造・小

野作右工門・梅津栄一・小
松梯之助

一般質問 (要旨)

非行防止対策などについて問う

梅津栄一議員

〔質問〕 大琴下から高瀬館、大琴小学校の横を通り、根小屋線に至る農道は、通学路や舟木側からの近道、う回路など、生活道路としての機能が増している。この際、本農道を町道にする意志はないか。

〔町長〕 町道規格に照らし合わせ、検討したい。

〔質問〕 青少年非行の低年齢化が問題になっているが、本町では、小・中学生の非行防止対策としてどう取り組んでいるか。

〔町長〕 権威を否定することなく、社会生活に秩序感覚を持ち、反抗期といわれる時期をうまく切りぬけられるような各家庭、非行のない東由利の社会づくりに努力していきたい。

〔教育長〕 教師・PTA・児童民生委員・警察・町・議会などの関係者による町内生徒指導協議会、校長・教頭合同協議会、生徒指導主事の連絡協議会などを開き、情報交換に努める一方、社会教育の面からは、家庭教育学級、

明日の親のための学級などを開講し、家庭教育機能の向上に努めている。

〔質問〕 粗大ゴミ投棄場所

統合問題などについて質問

遠藤正男議員

〔質問〕 急坂な岩館坂地内の冬期の交通対策は。

県と協議し、部分的にでも勾配修正、カーブ修正などを実施できないか。

〔町長〕 暫定措置として現在の勾配、線形を改修できないかということについては、可能性があるとすれば県と協議し、あとで見解を示したい。

〔建設課長〕 凍結被害防止のため融雪剤を準備し、岩館の植田博さん宅に預託しているのを利用してほしい。砂については近日中に準備する。

〔質問〕 玉小現校地に、住吉・玉米両小統合校舎建設実現の見通しはあるのか。

〔町長〕 玉小現校地は、じゅうぶんな教育効果がある、それだけの条件を持っている環境、場所であると考えており、今議会に統合の条例案を提案した次第である。見通し

が無いため、随所に不法投棄され目に余る現状である。一時、ある地域に投棄場所を設定したかに聞いているが、その後どうなっているか。

〔町長〕 数度の議会でも要望されながら実施できないでいることは遺憾に思っており、当初予算には何らかの形で具体化していきたい。

については、議会の審議、決定によって決まるものであり、色々な見解もあると思うが従来からの三提案についてご理解とご協賛をいただき、実現できるようご協力を願うものである。

〔質問〕 蔵・老方小の統合計画の進めは。

〔町長〕 両地区が同じテールブルにつくことが第一である。

冷害対策などについて問う

五十嵐宗憲議員

〔質問〕 本町の来年度財政の見通しは。

〔町長〕 行政改革の推進により、補助金の圧縮、公共債の充当率の低下など、厳しいものになると予想されるが、事業量が減少しないように、さまざまな工夫して健全財政の維持に努力していきたい。

〔質問〕 冷害被災農家の税の減免措置、天災資金・自作農維持資金などの借り入れ者

議会特別委員会の結論でも、総力をあげてあたるべきだとしており、町、教育委員会とともに、蔵、老方両者の統合に関するテールブルにつく方向で努力していきたいと考えている。

〔質問〕 中学校の給食計画は。

〔町長〕 小学校の統合、全町小学校児童の給食を実現した後、中学校の給食を計画し実施していきたいと考えている。

〔質問〕 冷害被災農家の多くは、被害申告をしなかったために共済制度の恩恵を受けることができなかった。しかし、不申告の農家でも、刈り取りが遅れ、雪に見舞れたために共済金の支払いを受けている事実があり、農家の中に

への利子補給、種子購入費に補助——などを考えられないか。

〔町長〕 減免できる税は、町民税と国保税だが、法律上からいって、実際の減免額はごくわずかであり実効がない。それよりも、国や県との関係でどうなるのか悩みもあるが、できるなら五十七年度の国保税は、最悪の場合でも据え置くような計画を立てたいと思っている。種子対策等は行政報告のとおり。

〔質問〕 減反に伴う効率的な土地利用をどう考えているか。

〔町長〕 農政の環境は遺憾な状況にあり、換金性の高い作物を一律して指導していくことは難しいことである。しかし、やらなければならぬことであり、土地の効率利用は作目の選定とからみ大きな研究課題である。

〔質問〕 獣医師確保のため条例制定を考えていないか。

〔町長〕 希望者がおり、適当な人であれば、町の負担で獣医師の育成をしたいと考えている。条例制定の必要性については検討を要する。

は、来年以降は水稲共済掛金を払わないという声がある。こうなると、町行政にも少なからず影響が出ると思うが、この水稲共済制度に対する町長の考えは。

〔町長〕 被災農家救済のため、県や国でも検討されたようだが、法律のうえで成り立っている共済制度であり、事後に於いてこれを救済する方法はないという結果であった。しかも、残念ながらこれに代わる救済制度も現在のところ無いようである。

農家が水稲共済制度を放棄することになれば、町行政ばかりでなく農業政策全体にも大きく影響が出るものであり、そうしたことのないようお互いに理解を深めていくような指導、協力が必要と思う。

〔町長〕 農政の環境は遺憾な状況にあり、換金性の高い作物を一律して指導していくことは難しいことである。しかし、やらなければならぬことであり、土地の効率利用は作目の選定とからみ大きな研究課題である。

〔質問〕 獣医師確保のため条例制定を考えていないか。

〔町長〕 希望者がおり、適当な人であれば、町の負担で獣医師の育成をしたいと考えている。条例制定の必要性については検討を要する。

〔質問〕 工場誘致について、土地・水・電力の確保など、

条件整備は先行投資しても積極的に進めるべきと思うが。

〔町長〕 決して消極的なわけではなく、資金の効率的な使用方法などについて工夫しながら前向きに進めているところであり、理解と協力を願いたい。

〔質問〕 大平スキー場第一回運営委員会を開いたようだが、話し合いの内容は。

〔町長〕 具体的な内容は教育委員会から話してもらう。現況では、駐車場、その他ふじゅうぶんな点もあるが、本年度の状況を見たらうで来年度の対応を考えていきたい。また、来場者にイメージダウンさせないような配慮をしていきたいと考えている。

〔教育長〕 当面は町直営で施設管理、運営の主管は教育委員会となっている。運営委員は、町、議会、公民館、スキークラブ、草地利用者代表、地元小学校PTA会長、合わせて十三人。管理人、リフトの使用料・運転時間・運転期間、スキークラブ員の協力、休憩所・トイレの設置、PRの方法などについて話し合った。

〔質問〕 霊柩車購入について具体的に検討したか。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

〔町長〕 購入してもよいと思う。車種、運営方法など具体的なことがまとまれば来年度予算に計上したいと考えている。

丑ヶ台地区3.3ヘクタールを草地造成

284ヘクタールの牧道も整備



町では、畜産経営の安定拡大を図るため、毎年、国や県の各制度を取り入れ、粗飼料基盤の拡充整備を進めています。昭和五十六年度では、団体営草地開発事業で、舟打場集落向かいの丑ヶ台地区三・三ヘクタールの草地造成と二八三・八一ヘクタール（うち二六〇ヘクタールはコンクリート舗装）の牧道整備を行いました。

総事業費は、草地造成、牧道整備、合わせて千四百四十四万四千円、うち九百四十七万七千円が国・県の補助金、百八十五万五千円が町費、三百四十四万七千円が受益者負担となっています。この受益者負担分については、牧道が整備され、草地造成された丑ヶ台

三年据え置き二十年年賦償還の農林漁業金融公庫資金を充てることにしており、農家の一時負担はありません。受益農家は、舟打場集落の十戸で、現在、三十四頭の繁殖肉用牛を飼養しています。これに対して草地は、一頭あたり約十アールと少なく、米の生産調整が強化される中で、畜

産部門の安定拡大のため、丑ヶ台地区の草地造成を望む声が数年前から出されています。しかし、同地区に行くには、人が歩ける程度の道しかなく、道路整備に多額の経費が必要ことから、事業が進捗しないで見ました。こうした地元の願いがこのほど、牧道整備にも高率の補

助が受けられる団体営草地開発事業として実現をみたものです。十戸の農家は、既存草地と丑ヶ台草地、それに、計画中の出羽丘陵開発による草地造成と合わせ、今後、六十五頭飼養を目標に、複合経営の安定確立に取り組んでいくことにしています。

中小企業者のみなさん

倒産防止制度の活用を

中小企業倒産防止共済制度

きるものです。

▽毎月の掛金 五千円から五万円まで、五千円きざみの十種類（掛金総額二百四十万円まで、最短積み立て期間四十か月）

▽貸付額 掛金総額の十倍の範囲内で、回収困難となっ

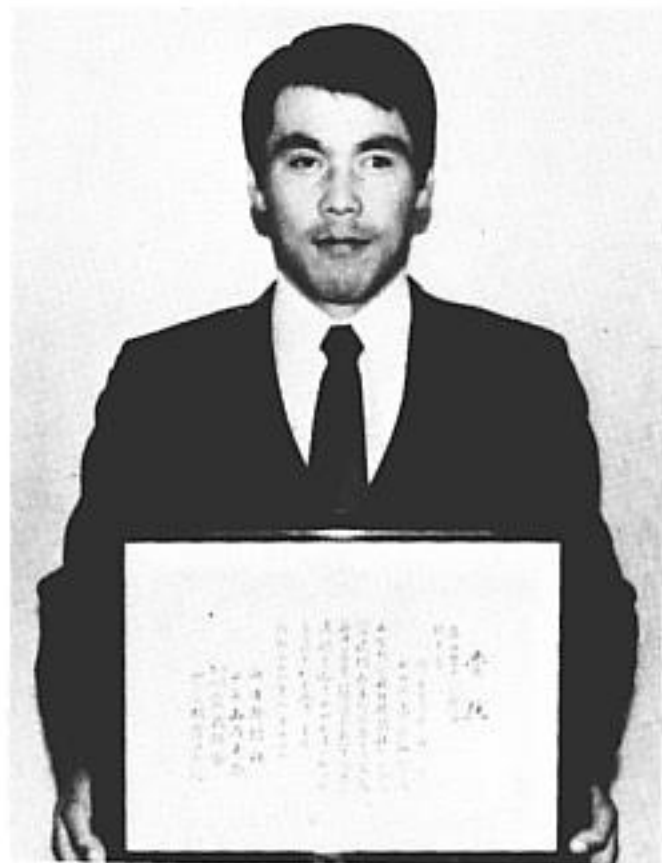
て優秀賞受賞になったとい

ます。賞状を手にした金子さんは、「非常にうれしい。今回の受賞は私にとって、かけがえのない自信と希望を持たせてくれた。農業情勢は一段と厳しいが、この感激を忘れずに、今後も仲間づくりを大切に、家族とともに農業を愛し、土とともに生きていきたい。まだまだ未熟な者であり、関係者の方々の尚一層のご指導をお願いしたい」と、喜びを話していました。

金子さんが優秀賞

〓毎日農業記録賞〓

将来に自信と希望



本町新町の金子拓雄さん（三十歳）は、毎日新聞社・富民協会主催の昭和五十六年度「毎日農業記録賞」の中央審査で優秀賞に輝き、十二月賞状を手喜びの金子さん

十五日、毎日新聞東京本社で行われた表彰式の席上、毎日農業記録賞と農林水産省農畜園芸局長賞及び全国農業協同組合中央会長賞が贈られました。

中央審査には、全国五地区三十四道県から、各予選を経て七十編が推せんされ、厳正な審査の結果、最優秀五、優秀十、優良三十四点が決まったものです。

優秀賞となった金子さんの作品は、「誇りある農業を目標として」と題し、開拓農家の長男に生まれ、小さいときか

ら両親の苦勞を目的の当りに見て育った中で、農業を一生の職業と決め、厳しい農業情勢の中で農業者としての誇りをもち、同世代の仲間づくりに努め、明るく楽しい農業、農村づくりを目ざし、水稲プラズ野菜、養豚の複合自立経営確立への努力と実践記録を綴ったものです。

こうした金子さんの生活記録は高く評価され、審査経過により、東北・信越・北関東地区という最激戦区の中で最優秀賞候補にあげられ、結果的にはほんのわずかの差

で優秀賞受賞になったとい

ます。賞状を手にした金子さんは、「非常にうれしい。今回の受賞は私にとって、かけがえのない自信と希望を持たせてくれた。農業情勢は一段と厳しいが、この感激を忘れずに、今後も仲間づくりを大切に、家族とともに農業を愛し、土とともに生きていきたい。まだまだ未熟な者であり、関係者の方々の尚一層のご指導をお願いしたい」と、喜びを話していました。

た売掛金等の「被害額」に相当する額。

▽加入申し込み先 商工会、商工会連合会、商工会議所、中小企業団体中央会。

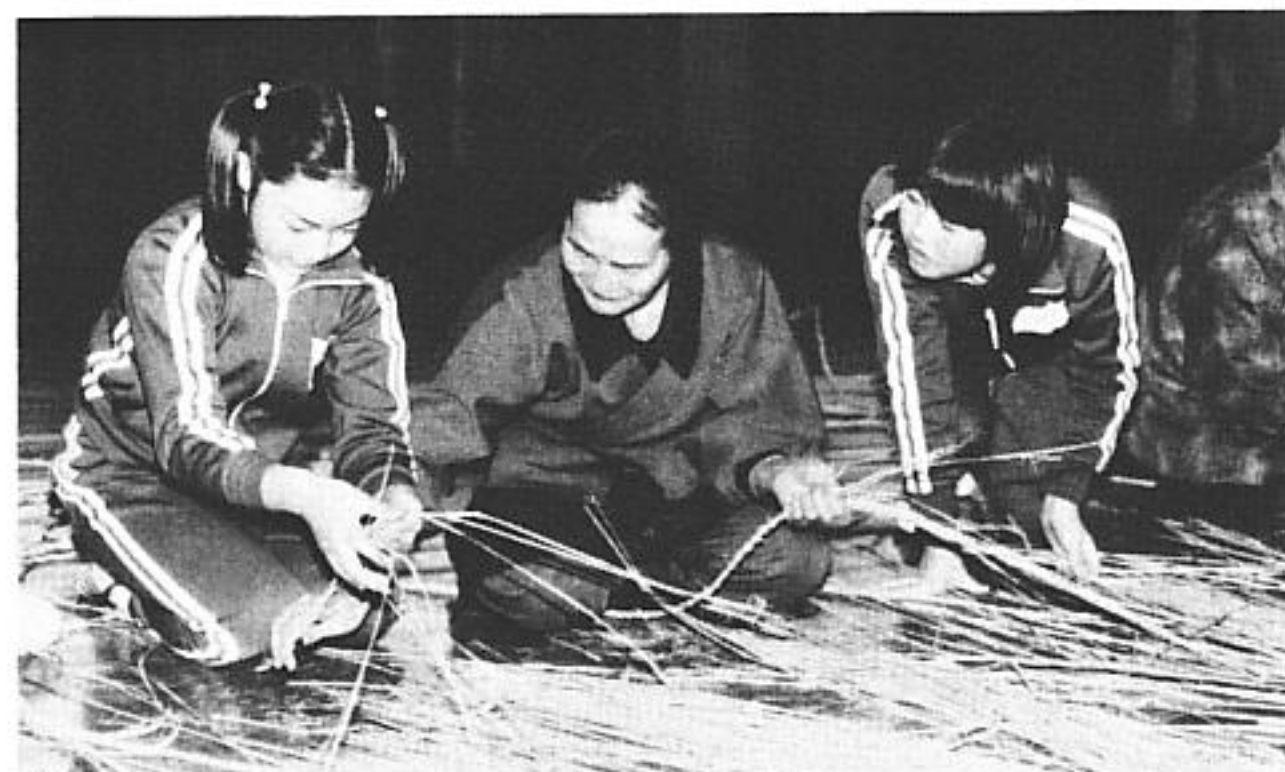
倒産関連特 別保証制度

信用保証協会が借入れ債務を保証する「信用保証制度」によるものですが、一般保証とは別枠で、倒産事業者と取引のある中小企業の連鎖倒産防止のために設けられているものです。

▽対象 金融機関の分を除く負債総額が十億円以上などの大口倒産事業者に対する売掛金等の回収が困難となり、経営不安定に陥っていると認められる中小企業者など。

▽申込先 最寄りの信用保証協会または貸付を受けようとする金融機関。

各制度について詳しくお知らせになりたい方は、それぞれ融資機関や加入申し込み先等にお問い合わせください。



蔵小高学「縄ない」に挑戦 年児童

蔵壮寿会がコツ教え

昔の生活の様子と物を作る楽しさを知ってもらいたい——と、老人クラブ蔵壮寿会では十二月十七日、蔵小学校高学年児童を対象に、同校体育館で「縄ない教室」を開きました。

「力を入れて、手をこねるように」と、おじいさんやおばあさんからコツを聞きながら、縄ないに挑戦する子供たち

57年度の学生募集

県立衛生看護学院

- ◎募集科目・人員
- ・保健科 50人
 - ・助産科 15人
 - ・看護科 30人

こうして二時間、苦勞してないあげた縄を手に「縄とび」をして遊ぶ子供たちの表情には、ひとつのことを成し遂げたという充実感が満ちあふれていました。

◎受験資格

- ・保健科・助産科：文部大臣又は厚生大臣の指定した看護婦学校又は看護婦養成所を卒業した人
- ・看護科
 - ・二年課程 高等学校を卒業した人
 - ・三年課程 准看護婦(士)の免許を有する人で、次のいずれかに該当する人
 - 1、免許取得後三年以上看護業務に従事した人
 - 2、高等学校を卒業している人
 - 3、高等学校衛生看護科を卒業している人

◎願書受付期間

- ・保健科 1月16日～31日
 - ・助産科 1月4日～18日
 - ・看護科 1月11日～23日
- (注：いずれも当日消印有効)
- ◎問い合わせ先・願書提出先
〒010 秋田市千秋久保田町六ノ一〇 秋田県立衛生看護学院(電話〇一八八—三

窓の国保

自己負担が三万九千円を超えた場合支給

病気やケガで医師にかかり、医療費として一人、一カ月、一つの病院で三万九千円を超える自己負担があった場合、超えた分を国保から後で払い戻します(約二カ月後)。

三万九千円の計算方法

- 一、暦月ごと……月の一日から月末までの受診について一カ月と計算します。
- 二、病院ごと……二つ以上の病院にかかっている場合は、それぞれの病院ごとに計算します。
- 三、総合病院……総合病院の各診療科は、それぞれの病院として扱います。ただし、総合病院の入院患者が、歯科を除く他の科の診療を受けた場合は合算します。

高額療養費支給制度

対象者には役場からハガキで連絡

高額療養費の支給対象者には、役場の国保係が医師からの請求書により抽出し、約二カ月後にハガキで連絡しています。払い戻しの際は、病院の領収書が必要ですので、紛失しないように気をつけてください。

小松文雄さん(新町)から東中に電池時計

ら東中に電池時計

このほど、昨年十一月六日病魔に倒れた東由利中学校二年・故小松稔君のお父さん(文雄さん、新町)から、「息子

町長日記は休ませていただきます。

東由利の地名

= 19 =

昔のくらしの中で、衣・住はなんとかなるにしても、食の占める割合は大きく、食のないことは死を意味することでもあった。八は末広と言われ、先にいくにしたがって広がり発展し、縁起が良いとされている。また、塩は人々と深いかわりのある貴重品で、塩を得るため、想像を絶するさまざまな苦勞があった。したがって、塩に対する願望・期待が今の人達の考え及ば

八塩山

神のおわします神聖な山であった。こうして、人々の有難い山であるの思い、数々のくらしを充たしてくれる山であるとの感謝、自分達にとってなくてはならない山との確信、信仰として縁起

をかつぎ八塩と名づけたし、呼ばれるようになったのでなからうか。

八塩山には、東由利に面した北面の東からみて、観音・大ヒド・小ヒド・木おとし・不動滝・大滝・やしの木と呼んでる各沢がある。沢にはそれぞれ意味があるが、東端の観音沢は、頂上の神社(東由利分)に祀つてある祭神が馬頭観音で、その神社の下にある沢であることからつけられたものと思う。また、木おとし沢は、豊富な木をそこまで運び、落として利用した沢であることから言われる。(畑山昭一)

1月のこよみ

陰暦・睦月(むつき)

曜	日	行	事
①	金	元旦	
2	土		
③	日		
4	月	御用始め	
5	火	町政座談会(住吉分館、於・田代福祉館)	
6	水	出初め式(於・大琴小体育館)	
7	木	町政座談会(蔵分館、於・大蔵館)	
8	金		
9	土		
⑩	日		
11	月		
12	火	町政座談会(老方分館、於・商工会館)、ことぶき大学	
13	水	乳児検診	
14	木		
⑮	金	成人の日	
16	土	スポーツ少年団交歓会	
⑰	日		
18	月		
19	火		
20	水	年金委員協議会(於・有隣館)、妊婦検診	
21	木		
22	金	1歳6ヵ月児検診	
23	土		
⑳	日		
25	月	貧血改善学級	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金	育児学級	
30	土	農業委員会	
㉑	日		
摘 要		31日 町県民税・国保税(4期)納期限	

おしらせ

町の概要

人口総数 6,324人
うち男 3,111人
うち女 3,213人
世帯数 1,444戸
面積 148.51km²
(56.11.30現在)

東北電力

21世紀をめざす東北
の進路と未来像を
論文募集

テーマ 「あすの東北を考
える」

応募資格 新潟県を含む東
北7県に住む満18歳以上
の個人または、グループ。

◎原稿枚数 四百字詰原稿用
紙15枚以上20枚以内(住
所、氏名、電話番号、職
業、年齢を明記のこと)。

◎締切 昭和57年1月30日(土)
当日消印有効。

表彰

・最優秀賞 一編 賞金50万円
・優秀賞 三編 賞金20万円
・佳作 十編 賞金5万円
・版權 主催者に属し、応募
した作品は返却しません。

◎問い合わせ・原稿送り先
〒980 仙台市一番町三丁目
七番一号 東北電力株式会
社広報室「論文募集」係
(電話〇三三二二二五一一
一一一)

読書感想文を募集

1月30日締め切り

本荘市立図書館では、本荘
市・由利郡に住んでいる方を
対象に、次により読書感想文
を募集しています。どうぞ、
ふるって応募してください。
(課題図書) 次の六冊より

一編を選んでください。

・吉村昭著『漂流』(新潮文
庫ほか) ・黒柳徹子著『窓
ぎわのトットちゃん』(講談
社) ・神谷美恵子著『生き
がいについて』(みすず書房)
・堀秀彦著『銀の座席』(朝
日新聞社) ・梅原猛著『湖
の伝説』(新潮社) ・夏目
漱石著『硝子戸の中』(岩波
文庫ほか)

◎原稿の長さ 四百字詰原
稿用紙で五枚とする。

◎原稿締め切り日 昭和57
年1月30日(土)。郵送によ
る場合は当日消印有効。

◎注意事項 作品提出の際、
作品には題名のみ記入し、別
に指定の応募票を添付するこ
と。(本文には氏名を記入し
ない)

◎問い合わせ・原稿提出先
〒015 本荘市美倉町三〇 本
荘市立本荘図書館「読書感想

前町監査委員

長谷山理一郎氏逝去

前町監査委員の長谷山理
一郎氏(老方・上通)は、
病氣療養中のところ、昭和
五十六年十一月三十日に永
眠されました。六十五歳(大
正五年十二月一日生)。
氏は生前、昭和三十八年
に本町初の監査委員に選任

文募集係

■国の進学ローン

一世帯50万円以内

国民金融公庫では、簡単な
手続きで利用できる「国の進
学ローン」として、次により
高校や大学等の進学に必要な
資金の融資を行っています。
(融資額) 一世帯あたり50
万円以内

善意

△住吉小へ雑巾60枚 渡辺ツ
ネヨさん(石高)から
▽大琴小へもち米五升 佐々
木君三さん(大琴)から
香典返しとして、故長谷山
理一郎氏のご遺族(長谷山博
昭さん、仙台市)、故小松稔
さんのご遺族(小松文雄さん、
新町)から、それぞれ金一封
が届けられました。
故人のご冥福を衷心よりお
祈り申し上げます。
町の社会福祉に役立てて

社福だより

結婚

畑山和幸 宇戸坂 安夫 二男
工藤大輔 新町 敏 長男
鈴木誠也 沼 靖 長男

〇うぶ声

11月21日〜12月20日届出分

慶弔だより

の大半を老方郵便局長とし
て在任し、郵便業務はもち
ろんのこと、電報電話の取
扱い局として管内の電話普
及に尽力され、山間地とし
てはいち早く電話自動化へ
の足がかりをつくるなど、
地域の産業経済活動発展の
基盤づくりに寄与されました。
心からご冥福をお祈り申
し上げます。

佐藤 太智雄 向田
佐藤 和子 金浦町
工藤 正栄 新町
瀧澤 真利子 雄物川町
佐藤 和弘 八日町
阿部 美和子 蔵
佐藤 真子 下小屋
小松 孝子 下通

・お悔み申し上げます
佐藤マサエ 中通 87歳
横山 弘 泡の瀬 54歳
山口誠太郎 上通 69歳

